

【主な出来事】

- カンドゥ前議会議長ら6名の民主党議員が民主党会派を離脱。政界再編に向けた動きが加速。
- 新型コロナウイルスを巡る状況を踏まえ、保健省は国内に危険度イエローを発出。（2月末時点では感染者ゼロ）

1. 内政

▼カンドゥ前議会議長ら民主党会派を離脱

- ・19日、カンドゥ議員（前議会議長）を始めとする6名の民主党議員が議会における民主党グループを離脱することを発表した。カンドゥ議員は、右理由について、現在の民主党の政策は不透明でイニシアティブが欠如しており賛同できない旨説明した。また、今の民主党の幹部は、他の政党との議論を経ることなく社会党との連立を望んでいるとして、党内の不透明な手続きに不満を述べた。カンドゥ議員は、今般の決定前にプラホトニク前民主党党首とも意見交換を行ったことを明らかにした。
- ・同日、6名の議員らは議会においてプロ・モルドバ会派を設立することを発表した。
- ・これに対し、フィリブ民主党党首は、現時点でいかなる政党とも連立協議は行っておらず、仮に将来的にそのような協議を行う場合には党内で議論を行う旨述べた。
- ・ノバク社会党議員は、社会党は現時点では民主党との連立は考えていないとした。
- ・ポプショイPAS副議長は、民主党ともプロ・モルドバとも協力することは考えていないとした。

▼世論調査結果

- ・24日、民間調査期間IMASは世論調査結果を発表した。同結果によれば、政党支持率は、社会党34.4%、PAS22.8%、民主党7.6%、ショール党4.9%、共産党4.4%となっている。大統領として相応しい政治家については、35%がドドン大統領、24.5%がサンドゥPAS党首と回答。

▼ウサトゥイ経済・インフラ相に対する不信任決議案の提出

- ・28日、ACUMはウサトゥイ経済・インフラ相に対する不信任決議案を議会に提出した。ACUMによれば、ウサトゥイ大臣は、公共調達手続きに関してEUとの国際約束で求められているEU内への事前通報手続きを経ることなく道路インフラプロジェクトの大規模入札を実施したとのこと。

新型コロナウイルス関連

- ・19日、Zhang Yinghong 駐モルドバ中国大使は、モルドバ人グループからの中国へのマスクの寄贈に対して謝意を表した。
- ・21日、外務・欧州統合省はプレスリリースにおいて、横浜港に停泊中のダイヤモンド・プリンセス号に乗船してい

る3名のモルドバ人の健康状態は良好である旨報告した。

▼保健省、国内に危険度イエローを発出

- ・24日、ドゥンブラベアス保険・労働・社会保障相は、新型コロナウイルスを巡る状況を踏まえ、3段階の危険度のうち最下位のイエローを国内全土に発出することを発表した。

2. 外政

▼ベニス委員会委員長のモルドバ訪問

- ・21日、モルドバを訪問中のブリッキオ・ベニス委員会委員長は、ドドン大統領、グレチャヌ議会議長らと会談し、モルドバの司法改革の現状等について議論を行った。

▼グレチャヌ議会議長のアルメニア訪問

- ・24日、アルメニアを訪問中のグレチャヌ議会議長は、ミルツイアン・アルメニア議会議長と会談し、両国の議会間交流や経済面での協力について話し合った。

▼チョコイ外務・欧州統合相のハンガリー訪問

- ・24日、ハンガリーを訪問中のチョコイ外務・欧州統合相は、セメジェ・ハンガリー副首相、マギヤール同外務副大臣らと会談し、近く予定されるオルバン首相のモルドバ訪問について協議した。オルバン首相の訪問時には、戦略的パートナーシップ合意への署名や第4回モルドバ・ハンガリー政府間経済貿易協力委員会の開催が予定されている。

▼チョコイ外務・欧州統合相、国連人権理事会ハイレベルセグメントに出席

- ・25日、チョコイ外務・欧州統合相は、ジュネーブで行われた第43回国連人権理事会ハイレベルセグメントに出席した。同会合の-marginでチョコイ大臣は、リンケビチュウス・リトアニア外相、ラブロフ露外相らと会談した。

3. 経済

▼キシニョフ国際空港の再売却

- ・19日、キシニョフ国際空港の現所有者であるロシア人実業家アンドレイ・ゴンチャレンコ氏は、同空港の売却を発表した。

▼ルーマニア企業による風力発電所建設

- ・19日、キク首相は、モルドバ南部ブルカネシュティで180MWの風力発電所を建設中のルーマニア企業Energo Continent 代表と会談した。同事業は、世銀グループIFCのインフラ・ベンチャー投資基金を活用し、2010年に始まった。同発電所は2022年の稼働を目指す

し、モルドバの電力消費量の約 15%を賄うことが期待される。

▼トルコ企業による国道修復工事

・21日、トルコ企業OZKA Insaatは、全長83kmの国道34号線(Hâncești-Leova-Cahul-Giurgiulești)の修復工事入札を獲得したことを発表した。プロジェクト総額58.6百万ユーロは、EBRD から拠出される。

▼チェコ企業によるモルドバ電力会社の買収

・26日、EMMA Capital Group(チェコ資本)がモルドバのエネルギー会社Premier Energy社及び同社系列電力供給会社の24%の株式を新規に取得し、その結果、同2社におけるEMMAのシェアは93%になったことが発表された。

経済協力

▼EBRD及びEU、バルツィ市の都市交通整備を支援

・25日、バルツィ市は、EBRD から総額250万ユーロの融資とEUから120万ユーロの無償支援を受けることを発表。当資金は、10台の新しいトロリーバスの導入と維持機器の購入に当てられる。

▼世銀、テルモエレクトリカの近代化に1億ドルの融資を計画

・26日、ウサトイ経済・インフラ相は、世銀専門家と会談し、テルモエレクトリカ社の新規事業に対する1億ドルの融資について協議した。

・同事業は、3分野で構成されており、温水と電力生産の最適化、効率の上昇、事業の管理と技術支援。第1段階で、世銀は天然ガス用の新規ボイラーの設置と新規システムの油圧情報管理を通じて温水・電力発電所CET-1の近代化に融資する。

4. 各種統計

▼2019年の輸送統計

・17日、国家統計局は、モルドバの2019年における輸送に関する統計を発表した。

・貨物輸送は18.9百万トン、対前年比3.4%減。内訳は、陸路14.5百万トン(同0.4%減)、鉄道4.3百万トン(同13.6%減)、河川・航空0.1百万トン(同2.1%増)。

・乗客輸送は、103百万人、対前年比0.8%増。内訳は、バス及びミニバス100.1百万人(同1.4%増)、鉄道1.2百万人(同32.1%減)、航空1.6百万(同3.2%減)、河川0.1百万人(同0.1%減)。

▼欧州ビジネス最適化ランキングでモルドバ42位

・18日、モルドバはNGO・EuChamの評価において2020年欧州ビジネス最適化ランキングで42位となった(前年41位)。ルーマニアは32位、ウクライナは46位、ロシアは43位。

▼モルドバの闇経済、対GDP比24.5%

・18日、NGO・Expert Groupは、モルドバの地下経済シェアが対GDP比24.5%となり、脱税は対GDP比7%(9~10億レイ。0.54億ドル)になると発表した。

▼2019年の工業生産

・19日、国家統計局は、2019年の工業生産が対前年比2%増となったと発表。内訳は、製造業が対前年比3.1%増となった一方、電力・ガス・蒸気・給湯4%減、採掘業1.9%減など。

▼UNDP人間開発指数でモルドバ107位

・20日、UNDPは、人間開発指数(HDI)2019を発表し、モルドバは189カ国中107位にランクされた。2019年、モルドバは収入、出生時平均余命、教育の不平等のため、ポイントを10.4%落としている。同調査で、ルーマニアは59位、ウクライナ88位、日本19位。トップはノルウェー。

▼2019年の卸売、小売統計

・21日、国家統計局は、2019年の卸売高・小売高を発表した。小売業(自動車及び自動二輪車を除く)の売上高は、対前年比13.2%増となった。同卸売(自動車及び自動二輪車を除く)の売上高は、対前年比14.7%増。自動車及び自動二輪車の卸売・小売の売上高は、対前年比26.4%増。対企業向けサービスの売上高は、対前年比8.2%増。

▼2019年の観光統計

・25日、国家統計局は、モルドバの観光に関する統計データを発表した。2019年、モルドバを旅行した観光客総数は374.8千人、内174.1千人が外国人観光客(46.4%)、モルドバ人観光客が200.7千人(53.6%)。

5. 対日関係

▼片山新大使の着任

・21日、片山駐モルドバ大使は、ドドン大統領に信任状を捧呈した。

(了)